


Bon
appétit!



adult only



今日は
私のお仕えする
アングラード家の
御子息様、
ジャン坊ちやまの
誕生日です。

ですが、
旦那様も奥様も
仕事でお出かけに
なられてしまい、
坊ちやまはお一人…

この広いお屋敷に
残され、寂しそうに
している坊ちやまを
祝福してさし
あげられるのは—

メイドである、
この私しか
居ないので。

ですから、少しでも
今日という日を、
坊ちやまにとつて
素敵で幸福な
一日として迎えて
いただけるよう――

坊ちやまの
パースデーケーキを
心を込めて、
作ろうと思っ
ているのです。

かねてから
準備、計画
していた――

Bon appetit?

どうかまに
坊ちやまに

喜んでいただけ
ますように――

パティ

!





あつ…あのつ

お行儀が
悪いですよ。
坊ちやま…

出来ましたら、
お待ちします。
どうか自室で
お待ちに…

ケーキも
いいけど…

僕もつと
食べたいもの
があるんだ。



坊つ…

ちやま？



坊ちやま…

いつもと
様子が違う
…

ねえ？
何だと思う？

僕が…
食べたいもの。

え？

え？



いつ…
いけませんっ！

ほっ…



ほらキミが作った
ジャムをたっぶりつけた
真っ赤なラズベリー！

とっても美味しそうだよ。

くちびるに
つけてあげるね…。

ほら…。

ふっ…

んっ

ポクとー

はんぶんこしよ。
いいね？

あっ

冷たっ…
やっ…あっ

あっ！

あっあ…

口にくわえて

まだ…

食べちゃダメだよ…

んっ…

ふっ…

！？

ほらキミが作った
ジャムをたっぶりつけた
真っ赤なラズベリー！

とっても美味しそうだよ。

くちびるに
つけてあげるね…。

ほら…。

ふっ…

んっ

ポクとー

はんぶんこしよ。
いいね？

あっ

冷たっ…
やっ…あっ

あっ！

あっあ…

口にくわえて

まだ…

食べちゃダメだよ…

んっ…

ふっ…

！？



こんなこと
するなんて…

いつもの僕らしく
ないかい？



僕も
こないだ…

信じられない
ような！

キミの姿を見て
驚いたよ…

ボク、キミって
もっと！



あんなキミの姿を
見るまではね…

つつましい人だと
思ってたのに…



いや…

こんな…

はしたない…
くちづ…け…



あーあ

あーあ

あーあ

ぼん

ぼん

ぼん

ぼん

ぼん

ぼん

ぼん

旦那さま、あーあ

旦那さま、あーあ

だん...だん



あんな激しく
乱れたキミを
見るのは
始めてだったね。



キミも
ここに居られ
るかどうか...



かあ

坊ちやま...!
アレを
御覧に...!?

いつも見て見ぬ
フリの母さんでも
さすがに—

あれを
明るみに
されたら...



おとなしく
僕の言いなり
になった方が
いいとー

ー思うな。

じっとして…

キミに…

これで綺麗な
デコレーションを
つけてあげるから…

あ…

いや……

え………？

恥ずかしいっ…

いや…坊ちやま…
やめて…はっ…



あっ…



冷たっ…

やっ…

いやっ…
いやっ…!



たっ…

…つわり

つけてあげるよ
ホラ…

や…
いや…

やっ…



こんな…

いや…

はっ…
恥ずかしいっ…



はっ…

…じじい…



体…全体…
…にもね…

あつ
あ…

やつ…



特に念入りに一杯…

ここは…

なな
なな

なな
なな



たくさん
のせよう…

ここには…
イチゴのジャムを…

のせて…

フルーツも

じつとして…

落としたりしたら
台なしだよ…



あー！
おいしそう。



やっ……
坊っ……ちやまつ

はっ

あつ……
んっ



むさぼる
ように……
しゃぶりついて

しゃぶり
方々
しゃぶり

さあ
できた！

これでキミを
食べられるよ。



感じて……
カチカチに尖った
乳首の上をー

舌がクリームで
ツルツル
すべって……



狂おしいほど
強く……
せつなくっ……

感っ……
じ……る……



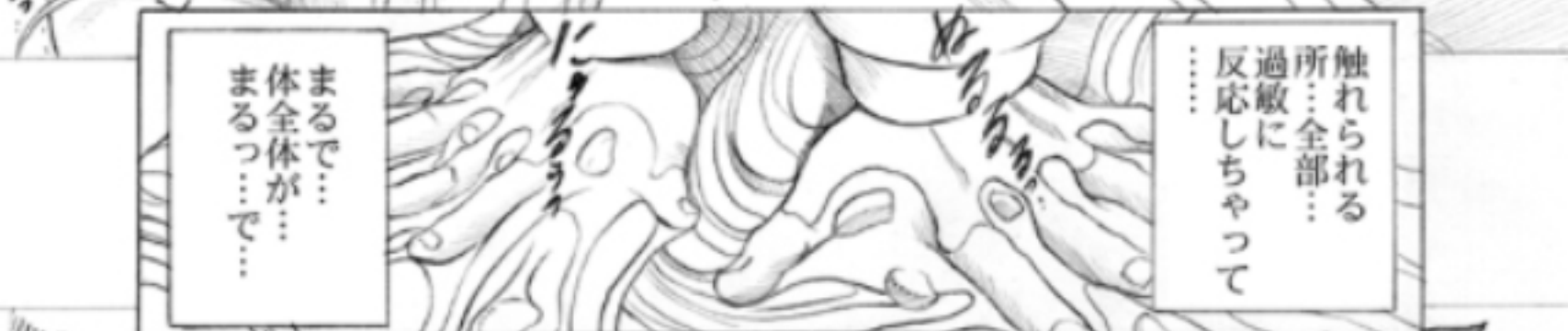
……あ……

は……
ど……

は……
ど……



ぬめりつく手がフルーツの断片をひきずりながら…滑つ…て…



触れられる所…全部…過敏に反応しちゃって…

まるで…体全体が…まるつ…で…



いや…あ

まるで一つのとろけた性器のかたまりになつた…みたい



はっ…はあつ

あ…

でも…

何か、
おかしな
感じ…

なぜだか
坊ちやまは…

弱味を握って
私を弄んでいると
いうよりも…

どこか…

私を責めて
いらっしやるかのよう…



